

みやこ漁港だより

2021
10月

No. 153



◇ 紙 面 案 内 ◇

- ▷ 臨時総会開催、理事会報告..... (2)
- ▷ 魚市場水揚状況..... (3)
- ▷ 漁場環境調査結果について..... (4)
- ▷ JF共済..... (5)
- ▷ 水産政策の改革動向..... (6)

表紙：長磯漁場作業の様子

臨時総会 (令和三年九月三日開催)

○承認・決定された議案
第一号議案

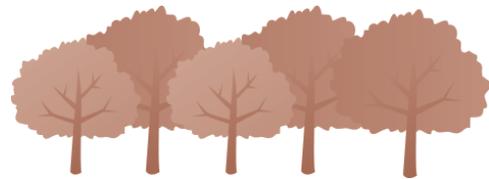
理事の欠員に係る補欠選任について

新役員紹介

次の方が役員に選任されましたので、ご紹介します。



理事(新)
岩間 順一



一区152号(長磯前)

第一種区画漁業免許状取得



10月1日(金)、宮古漁協ビル組合長室において宮古水産振興センター神所長より、一区第152号(長磯前)第一種区画漁業免許状の交付を受けました。

この区画漁業権取得は海洋環境に左右されにくい魚類養殖を、一区第120号(白浜)区画漁業権の一部漁場の区域を縮小し、その漁場の区域の利用を図り、漁業生産力を高めるものであります。

理事会報告

第四回理事会

(7月13日)

- ① 運営部会委員の編成について
- ② 理事・監事の席順について
- ③ 令和3年度における理事の報酬額決定について
- ④ 令和3年度における退任役員に対する役員退任慰労金の支給について
- その他
- ① 業務報告について

第五回理事会

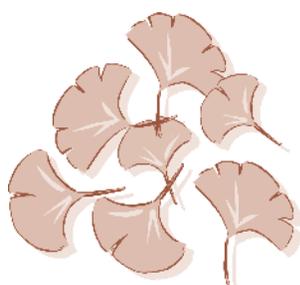
(8月4日)

- ① 組合加入について
(新規加入者)
三浦 悠暉 (鉾ヶ崎地区)
平沼 拓海 (鉾ヶ崎地区)
加村 孝明 (鉾ヶ崎地区)
- ② 漁業権連合管理委員及び漁業権管理委員の選任について
- ③ 令和3年度あわび漁業行使者について
- ④ 東日本信漁連に係る当座貸越の再契約について
- ⑤ 魚類養殖事業(宮古トラウトサーモン)に係る第2期最終結果について
- ⑥ 魚類養殖事業(宮古トラウトサーモン)に係る「岩手県海区未来につなぐ美しい海計画(魚類養殖版)」の策定について
- ⑦ 漁業権取得後の魚類養殖事業(宮古トラウトサーモン)に係る第3期事業計画及び今後の経理処理について
- ⑧ 臨時保証金の承認について
- ⑨ 理事の欠員に係る補欠選任について
- ⑩ 臨時総会提出議案審議について
- ⑪ 臨時総会開催日時決定について
- その他
- (一) 業務報告について
- (二) 登録買受人届出事項変更について
- (三) 令和3年度秋網取付日について
- (四) 漁場環境保全運動の実施について
- (五) 役員視察(研修)について
- (六) お盆休業について
- (七) 漁港検診について

「三のび」浜へ 年に一度の浜清掃

漁場環境保全運動実施

令和3年度の「地域海面の環境保全対策」に基づく海浜清掃活動を、8月28日(土)に実施致しました。今年度は、組合員・女性部員そして役職員合わせて約330人が参加し、ゴミの回収作業に当たり、汗を流しました。今年もマスクの着用とソーシャルディスタンスの確保をお願いしての活動となりましたが、無事に終えることが出来ました。参加下さった組合員・ご家族の皆様お疲れ様でした。今後も利用者の皆さんでマナーを守り、きれいな浜で気持ち良く作業ができるよう心掛けたいものです。



第六回理事会

(9月3日)

- (一) 運営部会委員の選任について
- その他
- ① 第49回衆議院議員選挙に係る対応方について



山根副組合長 全国豊かな海づくり大会表彰

10月3日(日)、宮城県石巻市で開催された第40回全国豊かな海づくり大会において山根副組合長が会長を務める宮古湾の藻場・干潟を考える会が漁場・環境保全部門で農林水産大臣賞表彰を受けました。
平成十二年、宮古湾の藻場・干潟を考える会が設立され、稚魚放流及び藻場の調査等、長年の活動が評価されたものであります。
心よりお祝い申し上げます。



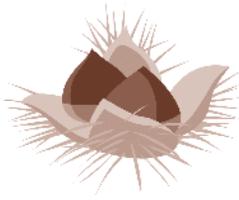
大井組合長 東北六県商工会議所連合会表彰

8月3日(火)、宮古ホテル沢田屋において、東北六県商工会議所連合会表彰伝達式が開催され、大井組合長が特別功績表彰を受けました。
この表彰は、大井組合長が16年の永きにわたり宮古商工会議所副会長として地域商工業の振興・発展に貢献された功績をたたえるものであります。心よりお祝い申し上げます。

古市場 水揚状況 (四月～九月)

宮古市魚市場の9月末(4月1日～9月30日)までの水揚は、水揚数量9千6百トン、水揚金額15億3千万円となっており、前年度と比較しますと、数量では1千4百トン増、金額では1億3千万円の増額となりました。
漁業種類では、定置漁業1千トン(8百トン)、1億3千万円(1億2千万円)、沖合底曳網漁業7千7百トン(6千百トン)、8億3千万円(6億6千万円)、まき網漁業39トン(2百トン)、百万円(6百万円)、近海小型船漁業50トン(63トン)、2千8百万円(3千7百万円)などとなっております。なお、秋刀魚棒受漁業、鮪梶木流網漁業の水揚はありませんでした。

※()は前年度実績



比較水揚高表

単位 数量：t 金額：千円 平均単価：1kg当たり

漁業別	令和3年9月30日				令和2年9月30日				増減			
	延隻数	数量	金額	平均単価	延隻数	数量	金額	平均単価	延隻数	数量	金額	平均単価
定置	430	1,024	139,212	136	353	811	125,748	155	77	213	13,464	▲19
沖合底曳	536	7,777	830,592	107	501	6,114	660,691	108	35	1,663	169,901	▲1
秋刀魚棒受	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮪梶木流網	0	0	0	0	1	1	249	1,122	▲1	▲1	▲249	▲1,122
まき網	1	39	1,091	28	3	217	6,075	28	▲2	▲178	▲4,984	0
いか釣	42	8	5,025	663	94	24	11,876	496	▲52	▲16	▲6,851	167
イサダ網	17	22	6,067	271	0	0	0	0	17	22	6,067	271
陸送	326	31	17,539	557	347	19	14,079	749	▲21	12	3,460	▲192
近海小型船	1,958	50	28,046	557	2,624	63	37,309	587	▲666	▲13	▲9,263	▲30
鱈延縄	485	256	130,465	510	646	470	215,794	459	▲161	▲214	▲85,329	51
かご	2,945	229	159,985	699	3,359	286	168,033	586	▲414	▲57	▲8,048	113
その他	2,543	172	213,981	1,243	1,990	114	157,035	1,379	553	58	56,946	▲136
合計	9,283	9,608	1,532,003	159	9,918	8,119	1,396,889	172	▲635	1,489	135,114	▲13

漁場環境調査結果について

「未来につながる美しい海計画」に基づく漁場環境調査について、日出島・臼木・白浜漁場の三定点における透明度・水温・比重・栄養塩(硝酸態窒素)の調査結果について御報告致します。

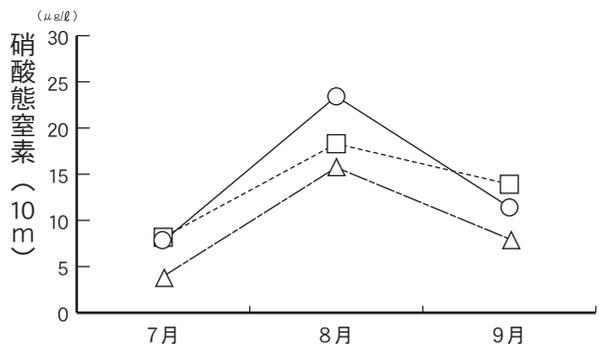
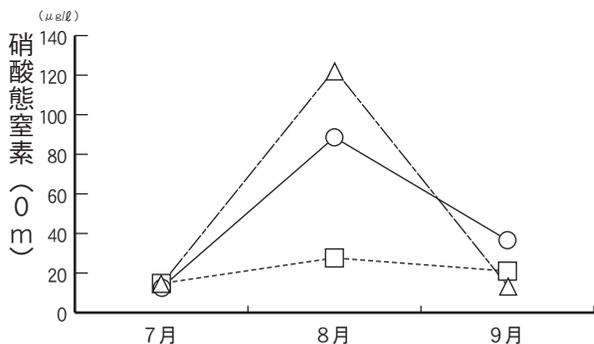
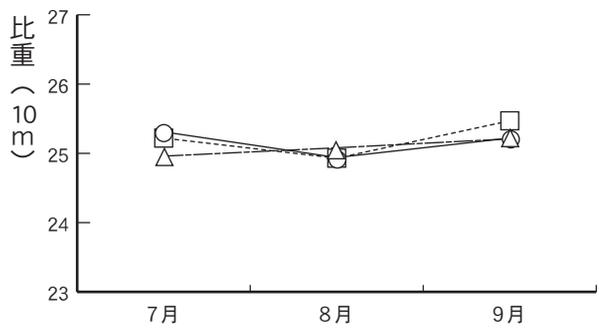
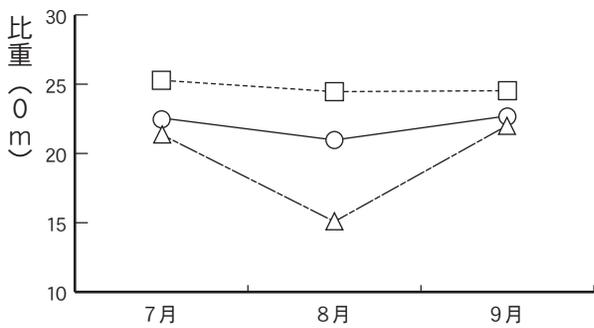
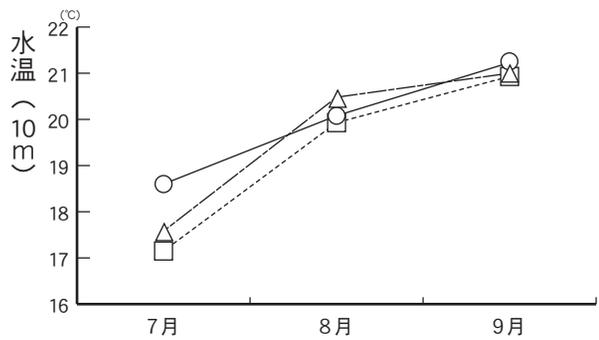
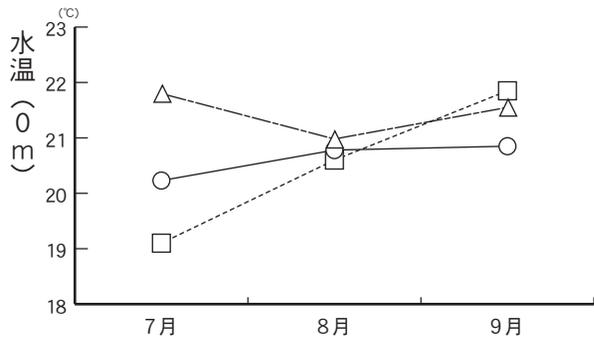
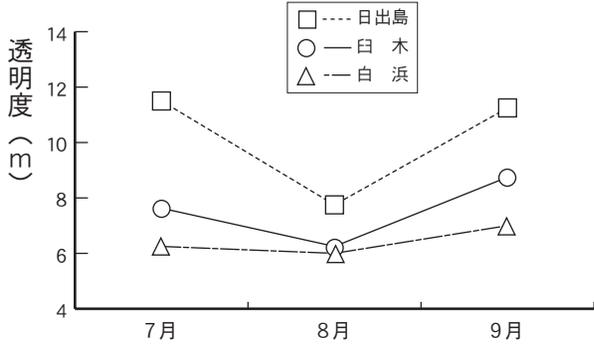
今回の調査結果と昨年同期を比較しますと、水温：昨年より低く推移しています。比重：白浜8月の0m層は低くなっていますが、その他は三定点とも安定しています。栄養塩：8月は高く、9月は低く推移しています。今後も漁協だより等、各支店・支所にて結果をご覧になれますので、皆様には参考にして頂きますようお願い致します。

若布・昆布養殖管理用の栄養塩濃度について

- ・ 栄養塩NO₃-N(硝酸態窒素)単位：μg/l という記号で表し、海水1l中のNO₃-N含有量を表す。(1μg/l=0.000001g/l)
- ・ 10μg/l以下になると芽落ちや色落ちが起こる危険な状態となる。
- ・ 20μg/l以上を一応安全な目安としているが、20~30μg/lでも晴天の日が続いたり、小潮時など海水の交換が悪い時は、芽落ちや色落ちが起きる事がある。

《栄養塩とは?》

栄養塩とは、海水中に溶けている肥料分のことで、窒素、リン、珪素が三大要素と呼ばれており、栄養塩の中でも特に窒素系の栄養塩(硝酸態窒素)は、タンパク質を形成する重要な元素であることから、この変動が若布、昆布の作柄に大きな影響を与えている事が知られております。

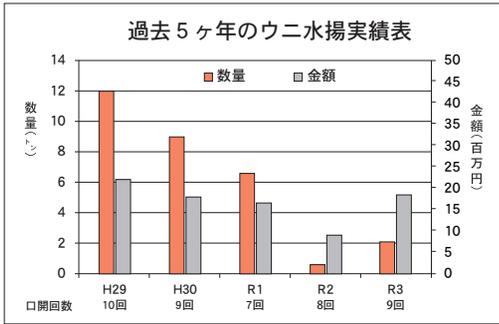


ウニ漁UPUPUP

今年度のウニ漁は、初回が6月14日に口開し、最終回の8月6日まで計9回(うち単独第105号3回)の口開けとなりました。

水揚数量は約2.1トン、水揚金額は約1千8百30万円と昨年度に比べ数量が350%、金額が208%と昨年を大きく上回りました。その要因として、今年は昨年より身入りが良く魚市場への殻付ウニの水揚があったことや口開回数が増加が考えられます。

来年度も海況等に恵まれ、豊漁の年になる事を願います。



※数量は、むき身・焼きウニ(集荷個数より)換算・殻付の合計で求めた。

災害時の備えに

避難場所の確認

家族で準備

防災用品

そして

- 台風豪雨
- 火災
- 地震
- 水害
- 津波
- 雪害

建物や家財を守る 生活総合共済

くらし

JF共済

水産政策の改革動画

水産庁では、水産政策の改革について、漁業者の方々をはじめとした関係者の皆様にわかりやすくお伝えする動画を作成いたしました。ぜひご覧ください。

水産改革ってなに？

水産改革のポイントについて、資源管理から密漁対策まで、全8テーマを水産庁長官（※）がわかりやすく解説しております。



動画はこちらから↓



ここが聞きたい水産改革！

水産改革について、水産庁長官（※）と各地の若手漁業者とのオンライン対談の様様を全6テーマお届けします。



動画はこちらから↓



(※) 令和3年6月当時

お問い合わせ先
水産庁漁政部企画課 03-6744-2343

みやこ漁協だより

令和3年10月発行 No. 153
(創刊 昭和60年6月)
発行 宮古市光岸地4番40号
宮古漁業協同組合
(☎宮古(62)1234(代))
編集責任者 大井 誠 治

編集後記

今年も10月に入り、過ごしやすき気候になりました。そして、10月中旬よりさけはえなわの漁期に入りますが、一昨年より全国的にさけが深刻な不漁であります。

このさけの不漁の背景には地球温暖化による海水温上昇の影響ではないかと考えられています。海水温上昇による生物の移動によって、食資源としての魚の量が変化すると予測されています。

地球温暖化対策として電化製品の適切な使用、エコドライブ、エコバック持参等、身近な省エネ行動を心掛けたいものです。

さて、浜は11月からあわび漁の時期になります。気温も下がり体も冷えますが、安全操業を心掛け出漁して頂きます様よろしくお願い致します。そして、豊漁であることを願っております。

次号(第百五十四号)は令和四年一月発行予定です。